

抗 HIV-1 Nef 抗体

免疫動物：ウサギ

ポリクローナル 抗血清

65-015 50ul,

65-016 250ul

HIV-1 Nefは、エイズウイルス複製の初期に合成されるアクセサリ蛋白質の1つで、感染細胞内に多く存在する。当初、ネガティブ因子(**negative factor**)からこの名前がついたが、現在では、エイズウイルスの最も重要な生物学的特性を担う蛋白質として注目されている(1)。この蛋白質は、宿主T細胞にある情報伝達蛋白質に直接作用し、エイズウイルス感染に、あるいは感染細胞の生存維持に有効に働き、非感染細胞に対しては、アポトーシスを誘導する(2)。また、エイズウイルスの感染に重要なCD4やMHCといった細胞表面のレセプター蛋白質のエンドサイトーシスや分解にも関係している。

本品は、HIV-1 ウイルスゲノムにコードされている Nef 遺伝子をプラスミドにクローニングし、大腸菌で多量に発現させ、クロマトグラフ法などにより高度に精製したリコンビナント Nef をウサギに免疫して作製した。

本品を抗血清として用いたウエスタンブロットにおいて、エイズウイルス感染細胞抽出液中に HIV-1 Nef の 27 kD のバンドが検出された(図1)。

用途

HIV-1 Nef の検出や定量を目的としたウエスタンブロット法や ELISA 法に使用できる。

製品の性質

性状：0.09%アジ化ナトリウム添加抗血清

保存：4℃

データリンク GenBank: [AAA44988.1](https://www.ncbi.nlm.nih.gov/nuccore/AAA44988.1)

文献

1. Arora VK *et al* "Nef: agent of cell subversion." *Microbes Infect* **4**: 189-199 (2002) Review PMID: [11880052](https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/11880052/)
2. Fackler OT and Baur AS "Live and let die: Nef functions beyond HIV replication." *Immunity* **16**:493-497 (2002) Review PMID: [11970873](https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/11970873/)

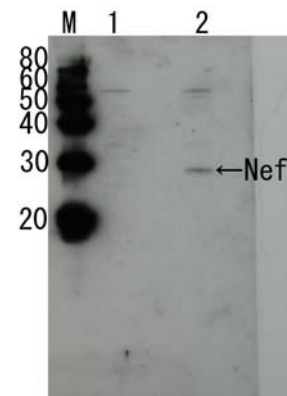


図1 抗 HIV-1 Nef抗体を用いたウエスタンブロット法による Nef 抗原の検出

レーン 1 : MT4 細胞抽出液

レーン 2 : HIV-1 (LAI 株) 感染 MT4 細胞抽出液

抗血清は 1,000 倍希釈して使用